

日本 萬歳 百揆 百笑

○九連嬢の兵氣 骨皮道人  
 九連嬢 人ハ足掛は依らぬものハ威やど終く  
 云いものハおあきんもそ極あま唐蜀黍の  
 やうな赤舞を身な若者なをて碧い眼を  
 ビカ附く一層極さへんお足倒し  
 安踏して先づ貧乏神の提灯指位  
 どうはらけうま足もはし加えまの國の退  
 將くま立派を肩書も持居る夫  
 で肝心な戦争もまわると三十計の中  
 口ごつ逃げのるおしり知さぬハお足  
 迂奴の急僕狐怪威がもる程ある退將夫  
 アロの先でこそ雷うまア、おやうありの  
 マア実際日本兵を改まらぬ見ちる  
 ツドーンと一發をうらなりやア、おまギヤン  
 の中さきう沈着居るものハおとて  
 居る矢先日本軍ハ鴨緑江の露軍を  
 撃破して奮進突撃し来り大砲の音  
 「ブドーン」と此音を聞てお將ハワラ  
 そ大愛と九連嬢を見捨て一生懸命  
 奔り来り「是やアおれ」



真世

明治三十七年五月廿日印刷 全年公月二十日發行 函作無發行 者日本橋區吉川町二番地 松木平吉 電話漢花三三二八十六番  
 Nishimura's 'Yoshiki' on the 'wafacchi' - Matsuki N. publisher -